

【基本方針】

「利用者が自分らしく過ごせる居心地のよいデイサービスを目指す」

【年間目標】

- ① 事故、ヒヤリハットを低減し、事故「0」を目指す
- ② 感染症対策を徹底して行い、感染症の蔓延を予防する
- ③ 1日平均利用者数32名以上を維持する
- ④ 利用者の個性に合った活動プログラムを企画し提供する
- ⑤ 職員が接遇技術や介護技術を互いに高めあい、共に成長していく職場を作る

【実践報告】

- ① 事故、ヒヤリハットを低減し、事故「0」を目指す
事故、ヒヤリハットが起こった場合、翌日朝礼時に職員間で情報共有を行い、対策を検討した。また、対応方法については当月の申し送りに随時記載し、全職員に周知徹底した。その結果前年度より事故数は減少している
- ② 感染症対策を徹底して行い、感染症の蔓延を予防する
スタンダードプリコーションを継続して行い、サービス内でのコロナ感染は防ぐことができた。ただ、職員・利用者における家庭内感染は数ケース見られた。今後は利用者・職員共に同居家族の健康観察を依頼し、施設に感染症を持ち込まない対応を続けていかなければならない
- ③ 1日平均利用者数32名以上を維持する
当年度は75.5%の稼働を保ち、平均数32名は達成できた。ただ、コロナ禍により月当たりの稼働率が安定していない状況にもある。今後稼働を保つために、引き続き居宅介護支援事業所に対しての営業が必要である
- ④ 利用者の個性に合った活動プログラムを企画し提供する
今年度より行った個別プログラムは順調に進行している。また、リハビリにおいても利用者個別に合ったプログラムの提供ができた。今後も継続して行う
- ⑤ 職員が接遇技術や介護技術を互いに高めあい、共に成長していく職場を作る
介護技術に関しては寮母会議における勉強会で研修を開催した結果、職員個々のスキルは向上している
接遇技術に関しても寮母会議における勉強会で研修を行っているが、職員個々における接遇意識にばらつきが見られる。利用者は人生の先輩であり、敬意の念を抱きながら接遇ができるよう職員に対しての意識づけを継続して行う為、引き続き勉強会等開催する必要がある

【苦情件数】 0件

【神戸市への事故報告件数】 0件